

第8回 オヤジマッチ in 基山 2018

Presented by



(1) 開催要綱

主催	ちびマッチ応援団（責任者：ちびマッチ応援団・団長 吉田光寛）
当番チーム	大野ヤングライオンズ
開催趣旨	『オヤジマッチ』を開催するにあたり、次のことを目的とします。 一. 野球をより好きになること 二. 勝利を目指して、アツい情熱を改めて持つこと 三. 野球の難しさを再度実感すること 四. チームワークの良さを今以上に深めること 五. 体のケアや日頃の運動にもっと気を付けること 六. 参加各チームとの交流を積極的に図り、より広げて・より深めていくこと
位置付け	『オヤジマッチ』は練習試合の延長・交流試合の一環であり、参加全チーム・参加者全員で責任を持って様々な役割を分担しながら、日頃、子どもたちの活動を支えているお父さん・お母さん方や指導者・OBの皆さんが主役となって経験と交流を楽しみ、“アツい”真剣勝負を繰り広げる、柔軟で臨機応変な成長型手作りイベントです。
日程	一日目：平成30年1月20日（土） 二日目：平成30年1月21日（日）
会場	基山町総合運動公園多目的運動場 （佐賀県三養基郡基山町大字宮浦666番地）
大会形式	16チームによるトーナメント戦 ※全チームが2試合以上ずつ行える。
参加選手	少年軟式野球チームのお父さん・お母さん・指導者・OB（中学生以上）。 ※少年軟式野球に携わる全ての大人・青年の方。 ※バッテリーは男性：30歳以上の選手（女性は年齢制限無し）。
開場	8：00
開会式	平成30年1月20日（土） 8：30～ Aパートにて ※各チームより、2名以上のご参加を必ずお願いします。
表彰式 閉会式	平成30年1月21日（日） 10：30～ Aパートにて ※決勝戦に進出した2チームのみのご参加をお願いします。
打ち上げ	平成30年1月21日（日） 18：00～ ※詳細は後日に連絡
雨天時 の連絡	少雨決行。やむをえず中止にする場合は、当日の朝6：00までに、各チームの担当者に連絡を行う。 ※順延日は無し。
参加費	1チーム：7,000円（賞品代・賞状代・会場代・石灰代・ボール代等として） ※開会式の前までにお支払い下さい。

試 合 球	軟式C号球を使用する。 ※主催者側で準備する。
バ ッ ト	軟式少年用を使用する（大人用（一般用）のバットは使用不可）。 ※各チームで準備する。
賞 品	優 勝チーム・・・賞状、優勝楯（15個）、ビール1ケース。 準優勝チーム・・・賞状、準優勝楯（15個）、発泡酒1ケース。 第三位チーム・・・賞状、第三位楯（15個）、コーヒー1ケース。

（２） 会場利用について

- ① グラウンド周囲のジョギングコースは、「一般利用者優先」です。
- ② ジョギングコースに、荷物を置くことやシートを広げることは厳禁です。
- ③ ジョギングコースでの練習は厳禁です（ジョギングのみ可）。
- ④ グラウンド内において、試合に支障が無い場所での練習は可能です。
※使用が終わる度に、グラウンド整備を入念にお願いします。
- ⑤ グラウンド内は禁煙です。

（３） 開催規則・ルール

- ① 試合前のウォーミングアップと試合後のクールダウンは、各チームで入念に行うこと。
- ② 服装はチームで統一できてなくても良く、各自の判断・責任で自由とするが、野球の試合を行う服装として相応しい格好（例：ユニフォーム、練習着、ジャージ等）とする。ただし、帽子は全員かぶることとし、ケガ防止のため、ハーフパンツは着用禁止とする。
- ③ 試合球は**軟式C号球を使用**し、バットは**軟式少年用バットを使用**する。
※大人用（一般用）のバットは使用不可。
- ④ 試合は7回90分とし、これを越えて新しいイニングに入らない。
※同点の場合は、エキストラ（無死満塁、打者継続）を繰り返す。
- ⑤ 全試合、点差によるコールドゲームは無しとする。
- ⑥ **バッテリー間は16m、塁間は23m**とする。
- ⑦ **バッテリーは30歳以上の選手**とする。ただし、女性選手の年齢は問わない。
- ⑧ 投球制限：一人**1日7回まで**（エキストラも含む）とする。
- ⑨ 同時出場制限：10代の選手は同時に3名まで。20代の選手も同時に3名まで。
30代の選手は同時に6名までの出場とする（40代以上の制限は無し）。
- ⑩ 各チームが責任を持つことを前提に、ヘルメットやキャッチャー道具の着用は任意とする。
- ⑪ **DH（指名打者）制を採用するかどうかは各チームの試合ごとの判断**とする。
※DH（指名打者）制を採用する場合、打順は1番から10番までの10人制とする（守備位置は通常の9ポジション）。
- ⑫ 試合中や練習中、また、移動中に事故や怪我が生じた場合は各チームで責任を持ち、速やかにしかるべき処置を行うこと。 ※大会主催者は、一切の責任を持たない。

☆試合後はお互いの健闘を称え合い、各チーム間の交流を深めましょう！